

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		障害者行動範囲拡大事業			担当課	障害福祉課	担当係	給付係	管理番号	26151
総合計画	大項目	1 健康でいきいきと暮らせるまち			事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務				
	中項目	3 地域で支え合って生活できるまちづくり			根拠法令 個別計画等	深谷市重度心身障害者自動車等燃料費補助金交付要綱・ 深谷市重度心身障害者等福祉タクシー利用料金助成事業 実施要綱				
	小項目	3 障害者福祉の推進								
	主要プロジェクト									
事業概要		障害者の外出機会を支援し社会参加を促進することにより、障害者の福祉の増進に寄与するものである。								
目的 ※何のために		障害者等の外出機会を支援し、日常生活の利便を図るとともに社会参加を促進する。								
対象 ※誰・何を対象に		身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳等を所持している方。（等級等の制限あり）								
手段 ※どのように		重度心身障害者自動車等燃料費補助金の交付及び福祉タクシー利用料金の助成を行う。								
成果 ※何を求めるか		在宅の障害者及び高齢者等の社会活動への参加を促進する。								
執行体制		■ 職員 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 市民ボランティア □ NPO等 □ その他（ ）								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	障害者行動範囲拡大事業	33,426,713
本事業の 主な業務		・ 重度心身障害者自動車等燃料費補助金交付（市単事業）							・	
		・ 福祉タクシー利用料金助成（市単事業）							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		自動車等燃料費補助 自動車等燃料費補助対象 者拡大 福祉タクシー利用料補助	自動車等燃料費補助 福祉タクシー利用料補助	自動車等燃料費補助 福祉タクシー利用料補助	自動車等燃料費補助 福祉タクシー利用料補助	自動車等燃料費補助 福祉タクシー利用料補助	
事業費	予算（現額）	31,685,000	42,788,000	36,310,000	35,646,000	43,258,000	
	決算額	29,437,095	34,232,143	33,381,593	33,426,713	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
	一般財源	29,437,095	34,232,143	33,381,593	33,426,713	43,258,000	
人件費	従事職員数（人）	0.49	0.69	0.45	0.55	0.50	
	人件費相当試算※	3,856,083	5,527,014	3,700,009	4,662,402	4,404,245	
総事業費試算		33,293,178	39,759,157	37,081,602	38,089,115	47,662,245	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	福祉タクシー券の配布枚数	目標値	枚							
		実績値		56,917.00	56,197.00	54,053.00	51,983.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請により配布するので目標値は設定できない。 / （4月1日現在）実配布枚数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	自動車等燃料費補助事業給付件数	目標値	件							
		実績値		2,363.00	3,080.00	3,177.00	3,221.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請により給付するので目標値は設定できない。 / 前期・後期延べ件数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	福祉タクシー事業使用枚数	目標値	枚							
		実績値		18,156.00	18,519.00	18,270.00	17,655.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			必要に応じ使用されるので、目標値の設定は適切ではない。						
	実績値の算出式									
成果指標 2	福祉タクシー事業利用率	目標値	%							
		実績値		31.89	32.95	33.80	33.96			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			必要に応じ使用されるので、目標値の設定は適切ではない。 / 使用枚数÷配布枚数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	自動車等燃料費補助金交付額	目標値	千円							
		実績値		15,733.45	20,757.72	21,556.86	22,027.13			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請により交付するので、目標値の設定は適切ではない。						
	実績値の算出式									
成果指標 4	福祉タクシー利用料金助成額	目標値	千円							
		実績値		11,232.52	10,815.78	9,135.00	8,827.50			
	目標値の算定根拠/実績値の出所			申請により助成するので、目標値の設定は適切ではない。						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	前年度と比較し、福祉タクシー券の配布枚数は減少したが、自動車等燃料費補助事業給付の延べ件数は増加した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	令和4年度から自動車燃料費の補助対象者を拡大したことにより、補助金交付額が増加した。また、令和5年度からタクシー利用料金について、1回の乗車の際に2枚まで使用することができるよう制度改正したこと等により、利用率が上がった。
			評価者 給付係長 茂木 徹也

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	重度心身障害者自動車等燃料費補助金の交付及び福祉タクシー利用料金の助成を適切に行うことができた。
			評価者 給付係長 茂木 徹也